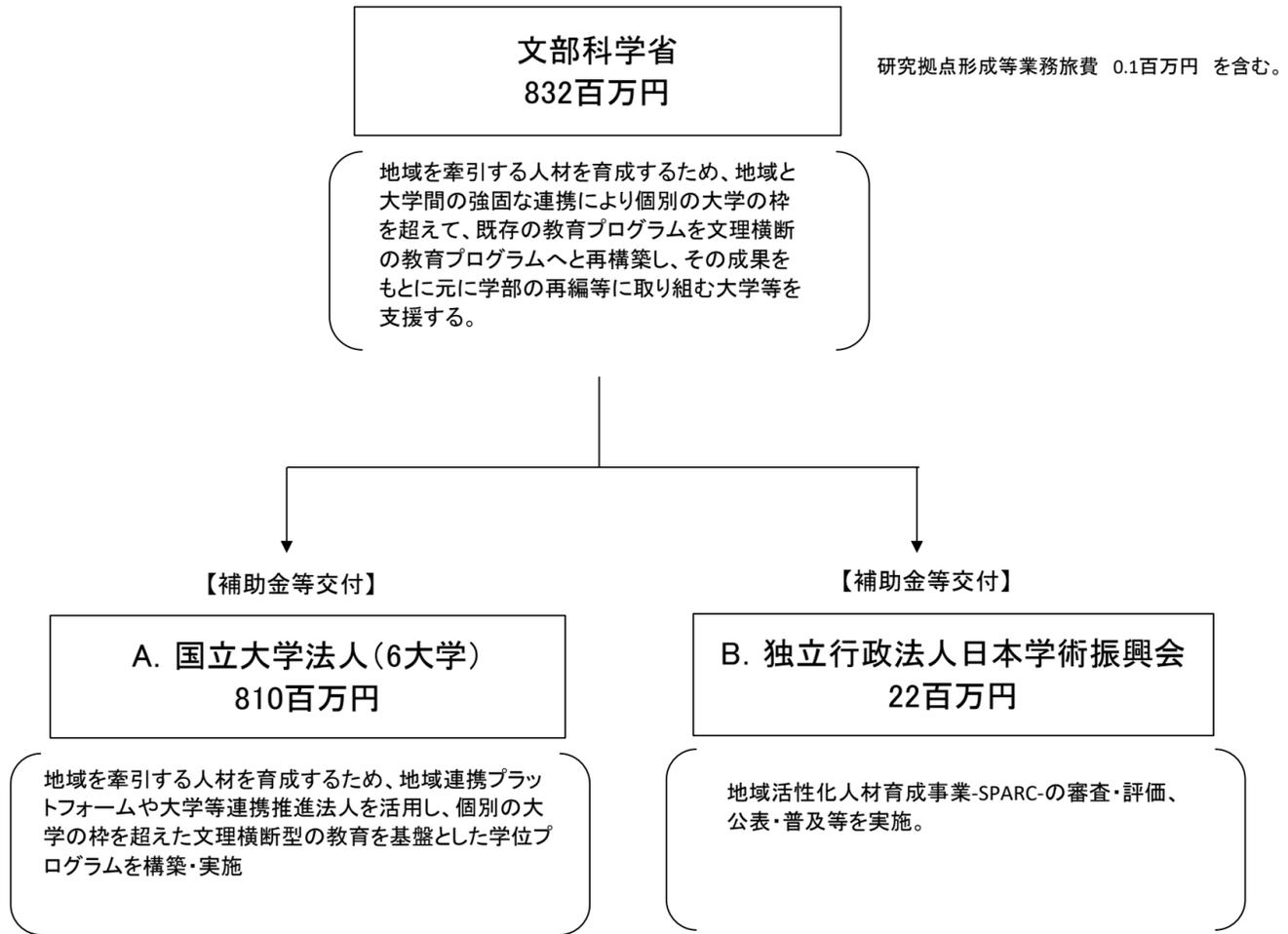


令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	地域活性化人材育成事業-SPARC-		担当部局	高等教育局		作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	令和9年度	担当課室	大学教育・入試課 古田 和之		
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等	・「経済財政運営と改革の基本方針2021」(令和3年6月18日 閣議決定) ・「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」(令和3年6月18日 閣議決定) ・「デジタル田園都市国家構想基本方針」(令和4年6月7日 閣議決定) ・「デジタル田園都市国家構想総合戦略」(令和4年12月23日 閣議決定)			
政策	4 個性が輝く高等教育の振興		主要経費	科学技術振興費、教育振興助成費			
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_4-1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	地域の大学が知の中核拠点としての役割を最大限発揮していくためには、大学を、地域ニーズに応え、地域の産業高度化やイノベーション創出を担い地域を牽引する人材を育成するシステムとして構築する必要があり、地域のリソースを総結集した上で、地域社会と大学間の連携を通じて既存の教育プログラムを再構築することにより、地域が真に求める人材を育成する機関に転換することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	各地域に所在する大学は、地域の核となり地域活性化に貢献することが期待されているが、地域社会が「学生に期待する能力」とは何か不明確であるとともに、大学側もそれを提示・養成できていないという指摘がある。また、Society5.0を支える人材として、自然科学の素養も求められる中、自然科学を専攻する学生は我が国全体で3割に留まっている。加えて、産学等の連携が局所的・限定的な取り組みに留まっている状況もみられる。このため、地域社会と大学間の本格的な連携を通じて、文系学部でも自然科学の素養を身に付けられる教育体制を整備し、教育内容の充実を図り、地域が真に求める人材を育成することが求められる。						
事業概要 (5行程度以内)	産学官金が連携し、地域の産業高度化やイノベーション創出を担う地域を牽引する人材を育成するため、 ・地域連携プラットフォームにおいて地域社会で求める人材像や地域課題を設定し、地域社会のリソースを総結集させた上で、 ・大学等連携推進法人を設立し、個別の大学の枠を超えた文理横断型の教育を基盤とした学位プログラムを構築し、 ・本事業の成果を元に学部の再編等を目指す取組等を支援する。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/sparc/index.htm						
実施方法	補助						
補助率等	定額						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	1,451.7	920.2	888.9
		執行額(G)	-	-	926.9	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	-	-	64%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	64%	-	-
		歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)	高等教育振興費	-					
(目)	人材育成連携拠点形成費等補助金	919	887.9				
(目)	研究拠点形成等業務旅費	0.3	0.5				
(目)	研究拠点形成等庁費	0.3	0.3				
(目)	研究拠点形成等委員等旅費	0.3	0.2				
	その他	0					
	計(A)	920.2	888.9				

活動内容① (アクティビティ)	地域を牽引する人材を育成するため、産学官金の連携のもと地域が求める人材像等を設定し、地域の資源を集中した上で、大学間の強固な連携により個別の大学の枠を超えて、既存の教育プログラムを文理横断的教育プログラムへと再構築し、その成果をもとに元に学部再編等に取り組む大学等を支援する。																
↓																	
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標 地域社会と大学間の連携を通じた既存の教育プログラムの再構築	活動指標 プログラム実施件数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>活動実績</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td>件</td> </tr> </table>			活動実績	件	当初見込み	件	単位 件	令和2年度 -	令和3年度 -	令和4年度 6	5年度 活動見込 6	6年度 活動見込 6		
活動実績	件																
当初見込み	件																
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	地域社会と大学間の連携体制を構築し、そこで設定・共有された人材像や課題等を踏まえ、個別の大学の枠を超えた文理横断型の教育を基盤とした学位プログラムを構築・実施し、学生が当該プログラムを履修することにより、地域ニーズに応え地域を牽引する人材の育成が進捗すると考えられるため。															
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標 大学による地域の産業高度化やイノベーション創出を担う地域を牽引する人材育成の進展	定量的な成果指標 本事業により開発した教育プログラムを履修する学生数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>			成果実績	人	目標値	人	達成度	%	単位 人	令和2年度 -	令和3年度 -	令和4年度 -	目標年度 9年度 -	
成果実績	人																
目標値	人																
達成度	%																
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	文部科学省における事業実施状況調査 ※令和5年度までは、主に地域連携プラットフォームや大学等連携推進法人の創設等のカリキュラムの再構築に向けた準備を実施しており、令和6年度から本格的なカリキュラムの展開が始まることから、実績は6年度から記載。 ※目標値は、各大学の事業計画を踏まえ決定。																
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	各大学の取組の進捗状況等について評価を行う中間評価や、事業の成果について評価を行う事後評価においては、各大学の事業採択時に設定した達成目標の状況や、実施体制、具体的な取組、事業成果の普及等の状況を総合的に判断することから、事業全体が目標に到達していれば、A評価以上を取得でき、地域社会と大学間の本格的な連携による、地域が真に求める人材の育成やそのためのシステムの構築が達成されたと考えられるため。															
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標 地域社会と大学間の連携を通じた、地域が真にもとめる人材を育成するための大学教育の転換	定量的な成果指標 中間評価・事後評価においてA評価以上の評価を受けたプログラムの件数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>			成果実績	件	目標値	件	達成度	%	単位 件	令和2年度 -	令和3年度 -	令和4年度 -	目標最終年度 10年度 -	
成果実績	件																
目標値	件																
達成度	%																
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	地域活性化人材育成事業-SPARC- 中間・事後評価結果 ※中間評価は令和7年度、事後評価は令和10年度に実施。																
アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由																	
アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由																	
アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由																	

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については、現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	講義配信等システム、教育研究設備費等	113	人件費	業務担当職員人件費、委員会委員手当等	20
その他	統合教務システム導入経費、コンサルタント業務委託費	47	その他	面接審査システム構築外注費等	2
人件費	事業担当教職員人件費等	22	物品費	事務用品費	0.1
旅費	調査旅費	3	旅費	フォーラム等出席旅費、事業委員会出席旅費等	0.1
計		185	計		22.2

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人山梨大学	9090005001670	知(地)のソーシャルキャピタル～学びの山梨モデル～構築事業	185	補助金等交付	-	--	
2	国立大学法人山口大学	9250005001134	ひとや地域(まち・文化・教育)のwell-beingに貢献する文系DX人材の育成	185	補助金等交付	-	--	
3	国立大学法人信州大学	3100005006723	「しあわせ信州」を創造する地域活性化高度人材育成プログラム	177	補助金等交付	-	--	
4	国立大学法人熊本大学	2330005002106	くまもとの未来を拓くグローバルDX人材育成プロジェクト～地域社会と国公私3大学の連携による「くまもと型文理融合DX教育」の構築を目指して～	94	補助金等交付	-	--	
5	国立大学法人宮崎大学	1350005001593	新しい価値を創造し持続可能な地域づくりを牽引する『多様な未来共創人材』の育成プログラム	88	補助金等交付	-	--	
6	国立大学法人東海国立大学機構	3180005006071	ぎふ地域創発人材育成プログラム ～地域活性化を目指した知的基盤の確立～	82	補助金等交付	-	--	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人日本学術振興会	1010005006890	審査・評価等業務	22	補助金等交付	-	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	